

国連中央アフリカ・チャド・ミッション United Nations Mission in the Central African Republic and Chad (MINURCAT)

| | | | |
|----------|--------------------|--------|-----------------|
| 設立年月 | 2007年9月25日 | 設立決議 | 安保理決議1778(2007) |
| 展開場所 | チャド及び中央アフリカ | 本部所在地 | ンジャメナ(チャド) |
| 事務総長特別代表 | 任命待ち | 警察部門長官 | 任命待ち |
| 活動期限 | 2008年9月25日(決議1778) | | |
| 任務 | | | |

1. 治安維持及び文民保護

- (1) 警察・憲兵隊の支援促進。EU軍、国軍、憲兵隊、警察等との連携。
- (2) 難民キャンプ移設に関する政府等との連携及び兵站支援供与。
- (3) スーダン政府、AU、AMIS、UNAMID等関連機関との緊密な連携。

2. 人権と法の支配

- (1) ジェンダー・性的暴力等、人権の促進と保護。
- (2) 政府・市民社会の能力強化支援、武装勢力による児童徴集・使用の終了への取組支援。
- (3) 独立した司法部門と法制度強化、法の支配の促進支援。

経緯・背景

1. チャドでは、03年頃から隣国スーダン・ダルフル地方より大量に難民が流入したことから、生活環境が悪化。04年以降のクーデター未遂事件等チャド国内政情の不安定化及び東部スーダン国境付近における反政府武装勢力の活動が活発化したことを受け、チャド政府は、スーダン政府が反チャド政府勢力を支援していると非難。2006年頃より、ダルフルのジャンジャウィードによるチャド集落への越境襲撃・略奪等が頻発したことに伴い約17万人のチャド住民国内避難民(IDPs)が発生した。

2. 中央アフリカでは、06年頃より北部地域で、反政府勢力と治安部隊間の抗争により、治安情勢が悪化、また、同年10月、ダルフルに拠点を置く中央アフリカ反政府武装勢力が同国北東部の複数の町を一時占拠する事態が発生したことから、中央アフリカ政府は、反政府武装勢力がスーダン政府の支援を受けていると非難。中央アフリカ軍は、仏軍の支援を受けて反政府武装勢力を掃討するも、度重なる武力衝突や略奪等により多くの市民が家を追われ、国内避難民が発生した。

3. かかる状況を受け国連安保理は、06年4月以降議論を加速。同年8月のUNMISの拡大を決定した安保理決議1706は、事務総長に対しチャドの国内避難民、文民保護及びスーダン・チャド国境のチャド側の治安状況改善に向けた報告を行うことを要請。これを受け同年12月及び07年1月に技術評価ミッションが同地域に派遣され、事務総長は安保理に対し広範な国連のプレゼンスに関する報告書を提出。他方、チャド政府が国境管理を含む国際部隊の受入に難色を示したことから、仏のイニシアティブにより、EUを中心とする軍事部隊派遣に関する議論が継続。IDPキャンプの保護を主要任務とし、国境管理の任務を含まないEU軍事部隊及び国連文民警察を主体とする多面的プレゼンスを展開することで合意。

4. 07年9月、国連安保理は、チャド・中央アフリカにおけるMINURCAT(国連中央アフリカ・チャド・ミッション)を含む多面的プレゼンスの設置を承認するとともに、同プレゼンスの一部をなすEUオペレーションに対し文民保護への貢献や人道支援の円滑化等の任務を履行するための憲章7章下での展開を承認すること等を内容とする決議1778を全会一致で採択した。

決議上承認されている要員規模

警察要員最大300名、軍事連絡要員50名及び適当数の文民要員

要員派遣国

未公開

犠牲者数

なし